

●すべての普通教室にクーラー設置

- * きっかけは、「暑すぎて勉強できない」と寄せられた声
- * 岩見議員が議会質問で、設置を求める。
- * 文部科学省に出かけ、交渉を行う
(2016年1月)
- * 交渉が実り、県内でいち早く、すべての普通教室に設置されました。



●除雪対策が強化される

- 30豪雪で寄せられた声を取りあげ、対策の強化を要望。以下のように改善されました。
- * 生活道路の除雪基準が80cmから60cmに
- * 全小中学校に、小型除雪機が配備されることになりました。
- * 町内会の小型除雪機購入の補助金が引き上げされました。



岩見ひろし

しかし例え1人の声でも、その声を市政にとどけ、時間はかかっても一つひとつ、実現に努力してきました。

これからも、市民一人ひとりの声を届け、市政に生かすために頑張ります。

力合わせ
実現
しました

最初は1人の小さな声でも

「市役所に喫煙室はあるのに、なぜ授乳室がないのですか」「(教室が)暑すぎて勉強できない」—最初はどれも1人の声でした。

子育て支援に逆行します

国保税の子ども「均等割」の減額・免除を！

- ・ 子どもの数が増えた分だけ、保険料が高くなる「均等割」—こんな保険制度は国保税だけ。全国知事会も廃止を要求。加賀市では、「半額」にしています。

声 子ども3人で、10万円もの国保税になる。高すぎる、あんまりだ。

日本共産党 の提案

「所得は低いのに、保険料が一番高い」国保税。日本共産党は「1兆円の公費投入で“均等割”“平等割”を廃止、他の保険制度並みに引き下げる」ことを提案しています。

いっしょに、この願いを実現しましょう

「義務教育は無償(憲法26条)と全国に広がる

学校給食の無償化実施を！

- ・ 県内でも加賀市が「2人目一部補助、3人目以降無償」、中能登町・志賀町が「2人目以降無償」です。
- ・ 「子育て支援の中心に」と実施する自治体も広がっています。野々市市でも、実施させましょう。

全国では3割の自治体が「無償化」「一部無償化」です

- * 給食費「無償」の市町村は…82自治体、4.7%
- * 「一部無償化・一部補助」は…424自治体、24.4%

保育料は第1子から無料に

安心して受けられる医療・介護を

「のっティ」は小学生、障がい者、高齢者は無料に

- ・ 市内どこでも利用できるよう、民間バスの路線拡充を

財源は

上記の政策を、ぜんぶ合わせても、市の一般予算(年約200億円)の約4%でできます。「市民の暮らし第一」で税金の使い方を見直せば、十分に実現できます。

市民の声によりそい 市が暮らしを守る役割を

年金や給与の減少、医療の負担増、さらに10%増税…。いま、くらしや子育て、老後の不安が、市民の中で広がっています。

こんな時だからこそ、市民の声によりそい「国の悪政から市民のくらしを守る防波堤」として、市が役割を発揮する時です。

ご一緒に声を上げ
政治を変えましょう

「辺野古の基地建設反対」「子育ての応援を」—いま一人ひとりの市民が声を上げ、政治を変える流れが広がっています。政治が変われば、くらしが変わります。希望が持てる政治へ、ご一緒に声を上げましょう。

岩見ひろしへのご支援を広げて下さい

日本共産党